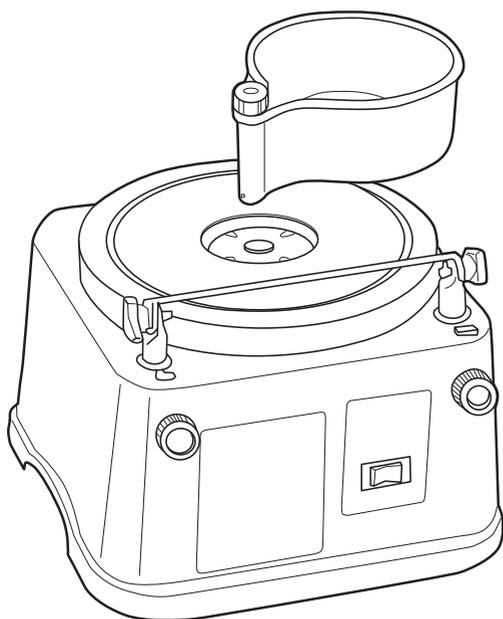


# 研磨機 FG-18

## 取扱説明書

保証書付



### もくじ

■安全上のご注意	1～5
■各部の名称	5
■仕様	6
■ご使用前に	7～10
■研磨方法	10～12
■刃物の種類	13
■砥石の交換方法	13
■保守と点検	14
■保証書	18

 二重絶縁

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

## 注意文の **⚠ 警告**、**⚠ 注意** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**⚠ 警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠ 注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**⚠ 警告**・**⚠ 注意** 以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「**⚠**」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

## ■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ちらかった場所や作業場は、事故の原因になります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・一般に電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・作業場は十分に明るくしてください。
  - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - ・機械を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
  - ・作業員以外、機械やコードに触れさせないでください。
  - ・作業員以外、作業場に近づけないでください。

## ⚠ 警 告

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理をして使用しないでください。
  - ・安全に能率よく作業するために機械の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った機械を使用してください。
  - ・小型の機械やアタッチメントは、大型の機械で行う作業には使用しないでください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。
  - また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを持って機械を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 加工する物、または機械をしっかりと固定してください。
  - ・加工する物を固定するときは、クランプや万力などを利用してください。
  - 手で保持するより安全で、両手で機械を使用できます。
  - ・機械によっては、機械本体を移動しないようロープ等を使って固定してください。
12. 無理な姿勢で作業しないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 機械は、注意深く手入れをしてください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店または当社営業所に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・接続箇所は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、機械のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または修理をする場合。
  - ・付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が想定される場合。

## △ 警 告

15. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
  - ・電源を入れる前に、調整に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
  - ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の損傷、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店または、当社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店または、当社営業所に修理を依頼してください。
  - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない機械は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・本取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
  - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・修理は、必ずお買上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やけがの原因となります。

## 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

## ●研磨機ご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、研磨機をご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

### △ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になりけがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護めがねの着用を心掛けてください。
3. 砥石は純正品を使用してください。
  - 純正品以外の砥石を使用されますと過負荷からのモータ焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
4. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - ・異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
5. 使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店または、当社営業所に点検、修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や本機のボディなどに破損、亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
7. 本機のスイッチが切れていることを確認してから、電源プラグを差し込んでください。
  - スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
8. ぬれた手で電源に触らないでください。
  - ・感電の原因になります。
9. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
  - ・けがの原因になります。
10. 使用中、刃物の角度を起こしすぎたり、力を入れすぎたりしないでください。
  - 刃先が砥石に食い込んで大変危険です。
11. 事業者の方へ
  - ・砥石の取替え、試運転は、法規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

### △ 注 意

1. 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
  - ・砥石が破損したとき、けがの原因になります。
2. 試運転を励行してください。
  - ・試運転時間は、砥石交換のとき 3分間以上  
その日の作業始めのとき 1分間以上です。
  - ・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
3. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。

## △ 注意

4. 本機のスイッチは左回転、停止、右回転になっています。  
砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆回転のスイッチを入れてください。

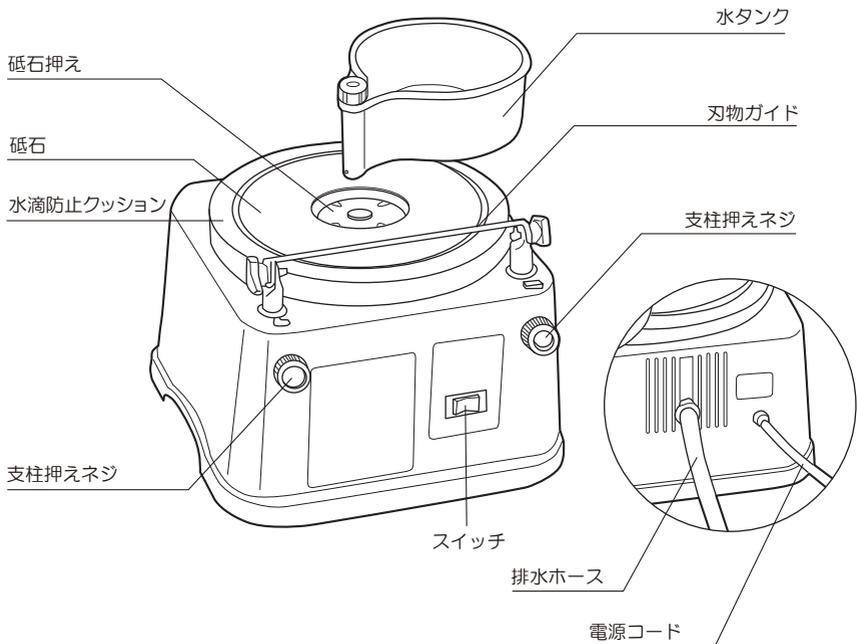
### 二重絶縁とは…

電気回路と使用者の間を二重に絶縁した構造を示し、感電に対する安全性が高くなっています。このためアースを取る必要がありません。

### 延長コードとは…

一般工具用の延長コードをご利用ください。また、巻きコード(コードリール)を利用される場合は、巻いたまま使うと熱を持ちますのでコードを全部引き出してご使用ください。

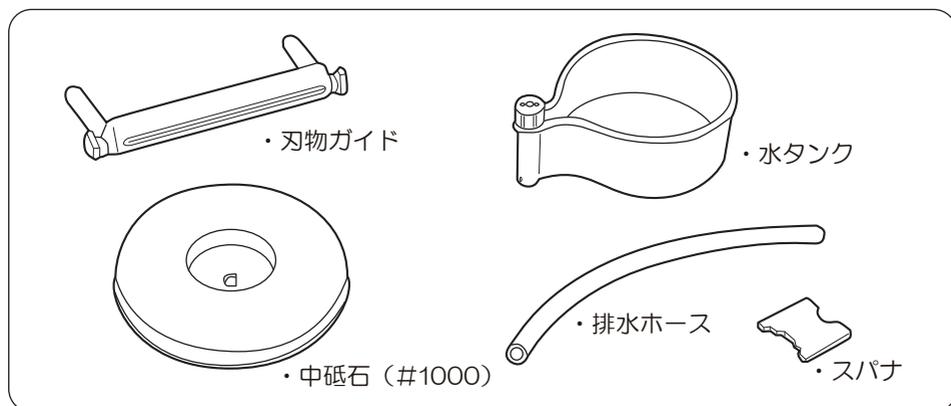
## ■各部の名称



## ■仕様

電 源	单相・交流 100V
周 波 数	50/60Hz
電 流	1.3A
消 費 電 力	125W
定 格 時 間	20分
回 転 数 (正・逆転)	400min <sup>-1</sup> (50Hz) 470min <sup>-1</sup> (60Hz)
砥 石 寸 法	外径 180 × 内径 70 × 厚さ 20mm
本 体 寸 法	幅 270 × 奥行 270 × 高さ 240mm
コ ー ド 長 さ	1.8m
質 量	5.0kg

## ■通常付属品



## ■別販売品

- ・荒砥石 (# 180)
- ・中砥石 (# 1000)
- ・仕上砥石 (# 6000)

## ■用途

### ●刃物研磨

- ・包丁 (菜切、文化、牛刀、刺身、出刃、ペティ)
- ・カンナ、ノミ、彫刻刀など

## ■ご使用前に

### ⚠ 警告

1. 使用電源は銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ず電源スイッチが切れていることを確認してください。
3. 水で濡れた手で電源プラグや電源コンセントに触れないでください。感電事故の原因となります。

### ⚠ 注意

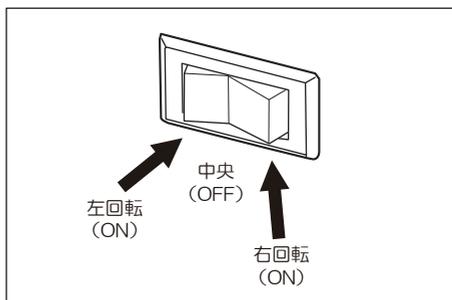
1. 本機のスイッチは左回転、停止、右回転になっています。  
砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆転のスイッチを入れてください。

## ●スイッチについて

- ・ スイッチは、左回転側を押すと電源が入り (ON)、砥石は左に回転します。  
右回転側を押すと、同じように電源が入り (ON)、砥石は右に回転します。  
中間の位置では、スイッチは切れた (OFF) 状態となり、砥石は停止します。

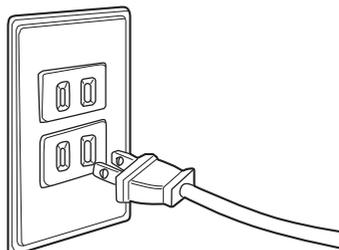


回転方向の選定については、11ページの「刃物と回転方向」を参照してください。



## ●電源の接続

- ・ 電源コード先の電源プラグを手で持ち、確実に電源コンセントに接続してください。
- ・ 電源コンセントから電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを手で持ち抜いてください。

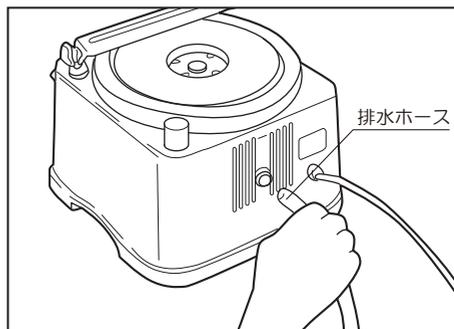


## ●排水ホースの取付け

- ・電源コード取出し部の左側に、排水ホースの取付け口があります。付属の排水ホースを挿入し、取付けてください。



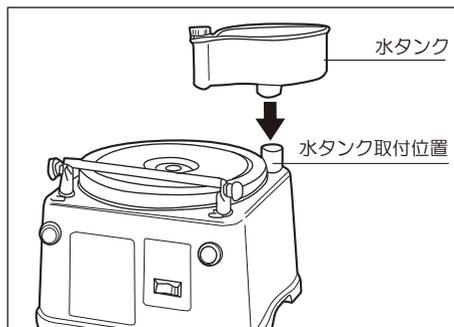
ご使用の際、ホース先端から研磨に使った水が排出されます。あらかじめ、受け皿などを用意してください。



## ●水タンクの取付け・調整

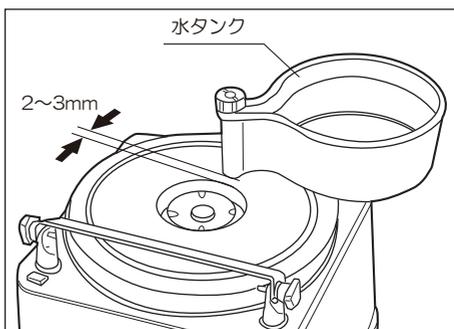
### ・水タンクの取付け

本体上面の水タンク取付け位置(支柱)に水タンク下の支柱受けを重ね、取付けてください。



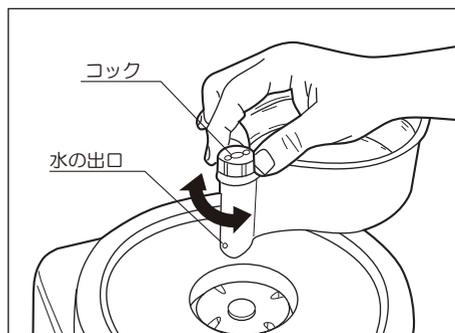
### ・水タンクの位置調整

水タンクの水の出口は、砥石の内側2～3mmの位置に合わせてください。水の出口が砥石の外側近くにあると、とぎ汁が遠心力で砥石の外側に流れ、砥石表面を全体に潤すことができません。



## ・水タンクの水量調整

水タンクの8分目位の水をいれます。水タンクのcockを左右に回し、水タンクの下・先端の(cockの下)水の出口から水の出る量を調整してください。つぎにスイッチを入れ、砥石を回転させて砥石表面を十分濡らしてください。研磨時に水を出す量は、1秒間に1滴位の目安で水を出してください。



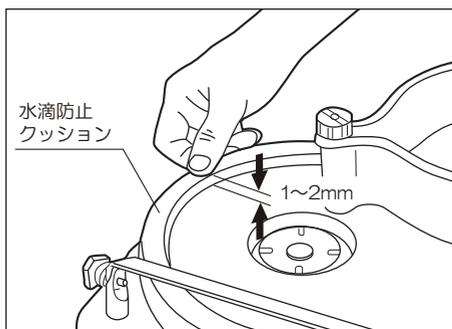
- ・砥石表面(研磨面)にとぎ汁が適量残るように出してください。水の量が少ないと砥石表面が乾き、多量に出すと、とぎ汁が流れてしまいます。水の量には、十分注意してください。
- ・使用中など、水タンクの水の出口からスムーズに水が出なくなったときは、水タンク内の水量が少なくなったか、出口の詰まりが考えられます。細い棒などで詰まりを取り除いてください。

## ●水滴防止クッションの調整

水滴防止クッションは、簡単に手で上下調整ができます。水滴防止クッションを手で押すか、つまんで持ち上げ、砥石表面より1~2mm高い位置に合わせてください。



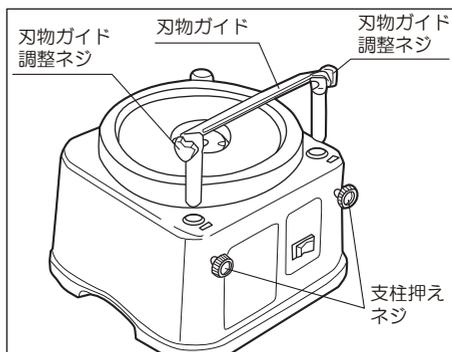
水滴防止クッションは、スポンジ製です。研磨中に刃物が触れても、刃先を傷つけることはありません。



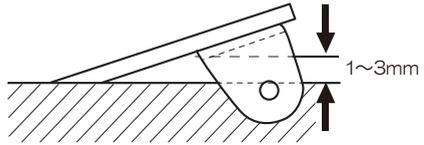
## ●刃物ガイドの調整

刃物ガイドは、刃物に合わせて角度と高さを調整してください。

- ・高さの調整は支柱押えネジをゆるめ、刃物に合わせた高さに、刃物ガイドを手で持ち上げて、または下げて調整してください。調整後は、使用中に高さが変わらないよう支柱押えネジを締付けて固定してください。



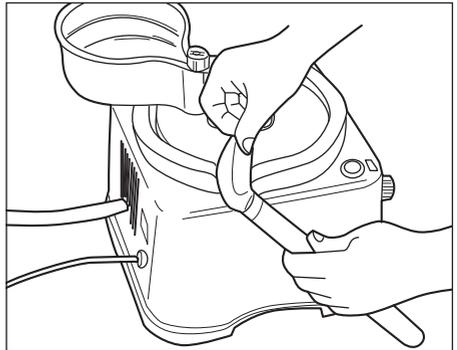
 刃物ガイドと砥石の間隔は1～3mmが適当です。刃物に合わせ調整してください。



・角度の調整は、左右の刃物ガイド調整ネジをゆるめ、刃物に合わせた角度に調整してください。調整後は、刃物ガイド調整ネジを締付け固定してください。

刃物ガイドと砥石の間隔は1～3mmが適当です。刃物に合わせ調整してください。

 本機に付いている刃物ガイドは、一般的な刃物用です。うすい刃物や角度の小さい刃物、刃先の曲がっているような特別な形状の刃物には合わない場合があります。このような場合は、刃物ガイドを外し、手で確実に刃物を保持（固定）し、研磨を行ってください。



## ■ 研磨方法

### ⚠ 警告

1. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
2. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
3. 使用中、刃物の角度を起こしすぎたり、力を入れすぎたりしないでください。刃先が砥石に食い込んで大変危険です。
4. 研磨中は、刃先の前に指などを出さないでください。けがの原因となります。

### ⚠ 注意

1. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
2. 本機のスイッチは左回転、停止、右回転になっています。砥石の回転方向を変えるときは、一度スイッチを切り、回転が停止してから逆回転のスイッチを入れてください。

## △ 注意

3. 本機の定格時間は 20 分です。

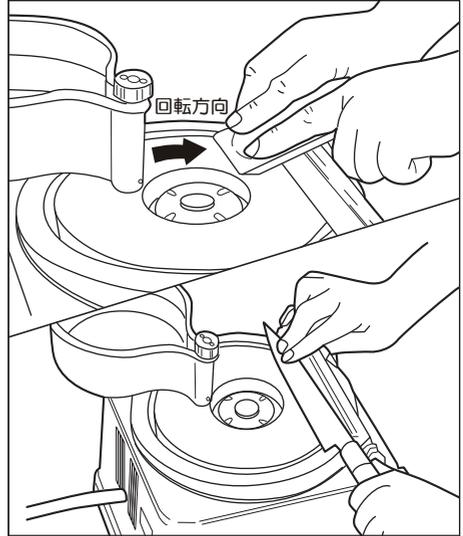
20 分以上連続して使用すると、温度ヒューズが作動して自動的に回転が停止することがあります。

このような時は一度スイッチを切り、電源プラグを抜いて 15 分位休ませてからご使用ください。

### 「刃物と回転方向」

- ・ 刃先に砥石が向かってくるように回転方向を選び研磨すると、カエリのないきれいな研磨ができます。

なお、長い刃先の包丁などでは正回転にこだわらず、研磨面全体を使った（逆回転部分も使った）研磨を行ってください。

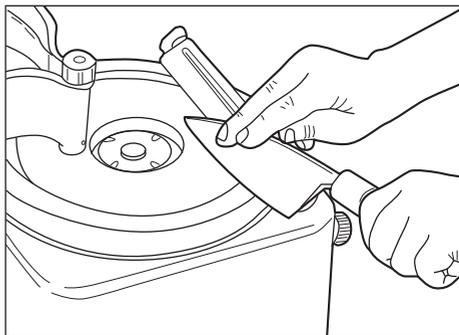


### 「研磨」

- ・ 研磨する刃物を刃物ガイドに当てて、角度を調整してください。  
角度合わせが済んだら、いったん刃物を外してください。
- ・ 研磨する刃物の研ぎ面に合わせ、砥石の回転方向を決めてください。
- ・ 水タンクに水を入れてください。
- ・ スイッチが中央の切り位置 (OFF) にあることを確認してから電源プラグを電源コンセントに接続してください。
- ・ 水タンクのコックを回し、水を砥石に出し始めてください。  
つづいて、刃物に合わせた回転方向にスイッチを入れ (ON)、砥石表面を濡らしながら、水の出る量を調整してください。

- ・砥石全体が濡れたら、刃物ガイドの上に研磨する刃物を乗せて研磨を始めてください。

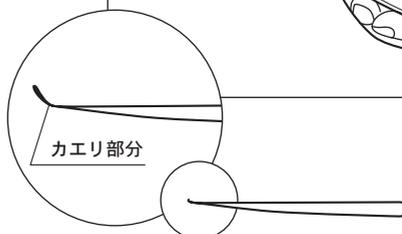
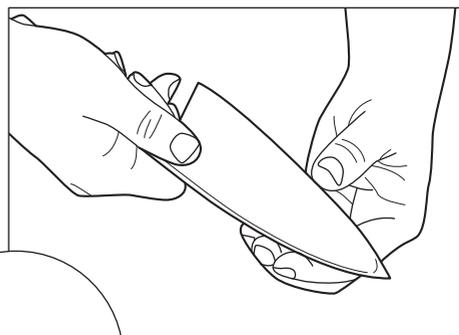
刃物を研ぐときは、片方の手で柄の部分をしっかり握り、もう片方の手の指先で刃物の上面をしっかり押さえて研磨してください。



- ・刃物全体が研磨できたら、刃物を外しスイッチを切り (OFF)、水を止めてください。



カエリがあるまま刃物を使用されますと、刃欠けの原因になるばかりか、欠けた刃先が切ったものに食い込むなど大変危険です。

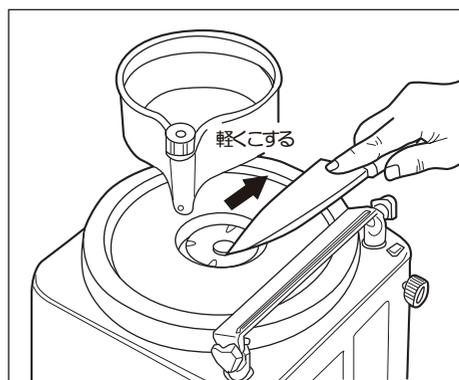


- ・研磨後、指先で刃先のカエリ具合を確かめてください。

このとき、刃先で指を切らないように注意してください。

カエリがある時は、カエリがある面を回転を止めた砥石の研磨面で軽くこすってください。

刃先を指先で確認しカエリを感じなければ研磨は終了です。

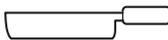
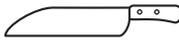


## ■ 刃物の種類

- ・ 刃物には片刃と両刃があります。  
片刃を両側から同じように研ぐと切れ味が悪くなります。  
また、両刃を片側から研いでも切れ味は良くなりません。  
両側から均等に研いでください。



- 刃物（刃先）の種類は次のようなものがあります。刃先に合わせて刃研ぎをしてください。

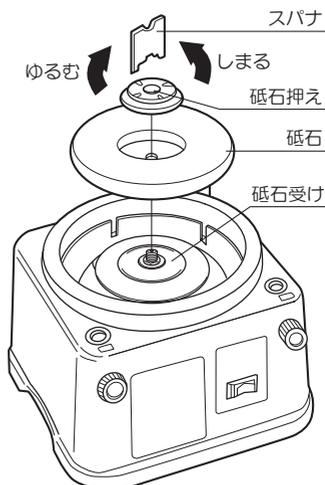
種類	菜切包丁	牛刀	刺身包丁	出刃包丁
形状				
名称	両刃	両刃	片刃	片刃
刃とぎの方法	● 刃の角度に合わせて、両面同じように研いでください。		● 刃先の角度のついている面を角度に合わせて研いでください。 ● 裏面のカエリは砥石の回転を止める砥石に平らにあてて軽くこするようになしてください。	

## ■ 砥石の交換方法

### △ 警告

1. 砥石交換のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。  
不意な始動によるけがの原因になります。
2. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。  
異常があると砥石が破損し、けがの原因になります。

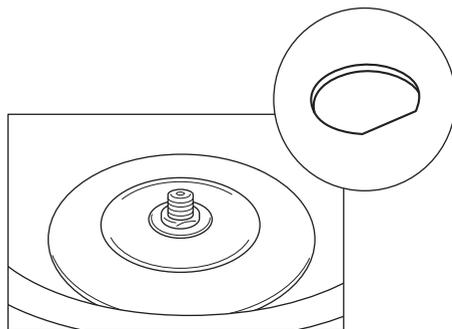
- ・ 刃物ガイドと水タンクを外した後、砥石の上から、砥石が回転しないように手で押え、砥石の回転を固定した後に、付属のスプナで砥石押えを右（上に表示してある矢印の反対方向）に回し、外してください。  
つぎに、砥石を上を持ち上げ取外してください。



- ・ 砥石の取付けは、取外しの逆の手順で行ってください。

シャフトの平らになっている切り欠きに、砥石下の鉄板の中央穴の切り欠きを合わせ、確実に挿入してください。

正しく入ったことを確認した後に、シャフトのネジに砥石押えのネジを合わせ、砥石押えを左に回し締付けて砥石を固定してください。



- ・ 取付後は、一度砥石を手で軽く回し、砥石の回転に振れが無いことを確認してください。

## ■保守と点検

### ⚠ 警告

1. 保守、点検、部品交換等のお手入れの前に電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。  
けがや感電の原因になります。

### ●各部取付ネジの点検

- ・ ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締め直してください。

### ●使用後の手入れ

- ・ 油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。
- ・ 長時間使用しますと、砥石の下部の水受け、排水口に研ぎかすがたまります。砥石を取外し、内部を清掃してください。
- ・ 本機は防水構造ではありません。  
汚れを取り除くときは、乾いた布か洗剤をしみこませ、良くしぼった布で拭いてください。  
絶対に直接、水をかけて洗わないでください。
- ・ 揮発性の溶剤や、ガソリン、シンナーなど引火性のものでは洗ったり拭き取ったりしないでください。  
変形や火災などの原因になります。
- ・ 砥石の表面は、平らを保ってください。長期間、砥石の同じ部分を使用すると、砥石表面が不規則（不均一）になります。時々、市販の砥石ドレッサーなどを使用して砥石表面を平らに保ってください。

### ●作業後の保管

- ・ 高温にならない、乾燥したところに保管してください。
- ・ 小さいお子様の手が届かないところで、落下の心配のないところで保管してください。

— NOTE —

— NOTE —

— NOTE —

# 保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名	FG-18		製造番号（本体の銘板をご確認ください）
お客様	お名前		電話（ ）
	ご住所 〒		
お買い上げ日	年 月 日	保証期間（お買い上げ日より） 6ヶ月	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号		

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内で多次の場合は有料にさせていただきます。
  - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷  
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
  - 保管や手入れの不備による故障や損傷
  - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
  - 水の浸入による故障または損傷
  - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
  - 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
  - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
  - 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
  - 本書のご提示がない場合
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
  - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
  - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
  - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
  - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役員経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

■修理メモ

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。  
This warranty is valid only for Japan.



京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

〒468-8512

愛知県名古屋市中天白区久方1-145-1

TEL 052 - 806 - 5111

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、領収書を印刷して貼付ください。

回収のために下記のリョービ電動サンダを探しています

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>

## サービスネットワーク（営業所）

当社サービスネットワークは、右のQRコード  
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

## 商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）  
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、  
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

発売元

京セラインダストリアルツールズ販売株式会社

本社

〒468-8512 名古屋市天白区久方1-145-1

TEL 052-806-5111 FAX 052-806-5141

<http://www.kyocera-industrialtools.co.jp>